

小麦の比較栽培試験報告

音羽町、鈴木晋示氏
報告者、市川靖雄

小麦の栽培においてキラ葉面散布剤の効果を比較してみた。

A区—麦踏み1回、追肥1回 穂肥1回

B区—麦踏み2回、追肥1回 穂肥1回

C区—麦踏み1回、穂肥1回、本葉3枚時3号800倍散布、
茎立ち前に1号1000倍散布

A、B、C区とも、元肥は化成で同量である。

4 / 26

A区



C区



A区は今にも倒れそうであるのに対し、C区はピンとしている。



A 区 B 区 C 区

C 区の穂の長さは A 区の約 1.3 倍ある。また、実も C 区は B 区より膨らんでいる。

5 / 18

A 区



C 区



A 区は倒れたところが数カ所あるが、C 区ではほとんどない。

6 月上旬に収穫予定。

C 区の小麦は東海農政局による詳しい収量調査が行われる。(C 区写真中央の白い棒の所)

C 区は 6 月 8 日に収穫をし、1 ha で乾燥重量 6 t でした。このあと選別を農協で行うのではつきり分かりませんが、製品重量は 5 % 減くらいだと思います

今年は、全体的に収穫は良好で平均 6 俵くらいで、B 区は 7.5 俵でした。それにしてもキラの試験区はよい成績でした。ありがとうございました。